

とっとり

県PTA広報

令和5年3月1日

89号



このロゴマークは八幡小PTAの中本豊紀さんのデザインによるものです

編集・発行 鳥取県PTA協議会

事務局
〒680-0846 鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
https://tottori-pta.net/





第52回 日本PTA中国ブロック研究大会

くらし大会

開 催 報 告

とき 令和4年11月12日(土)

会場 鳥取県立倉吉未来中心 大ホール

主催 中国ブロックPTA協議会
鳥取県PTA協議会

地域発！

親も子も！みんなが持つとる可能性！～故郷くらし暮らしよし～


掲げたスローガンのもと多くの方にご参加いただき、成功裏に開催することができました！

現地参加者
473名！

Web 視聴
810名！




歓迎アトラクション 打吹童子ばやしと和太鼓LEGEN童の演奏「鼓魂組曲2022」～息の合った勇壮な太鼓と、天女を思わせる美しい笛の音が会場に響き渡る～



日本PTA中国ブロック研究大会
くらし大会 実行委員長

高力 政寿 挨拶

今大会を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大が終息しない中でもより多くの方に参加していただけるよう、現地での参加に加え web 配信を行いました。私たちPTAの活動により、子どもたちがより良い環境の中で学校生活を送ることができ、また地域と連携した活動を通じて人と人のふれあいを大切に、地域の温かさ、心の故郷という感覚を育みながら様々な可能性に挑戦してほしいと願っています。



鳥取県教育委員会
教育長

足羽 英樹 様 御祝辞

今大会のスローガンには、子どもたちの健やかでたくましい成長に向けた大切なキーワードがちりばめられています。子どもたち一人一人が未来への「可能性」をもって夢や希望に向かって歩む力を持っています。また自分たちの「ふるさと」を知り、それを誇り思うことで心の根っこが育くまれ、困難や逆境に負けない強さが生まれます。教育行政も「ふるさとキャリア教育」を基軸とし、家庭、地域、学校との連携を大切に活動を進めてまいります。



松岡鳥取県PTA協議会会長の開会のあいさつの様子

- この他にも多くのご来賓の皆様よりご祝辞を賜りましたが紙面の都合上割愛させていただきます。
- 開式からすべてのプログラムで手話通訳のサポートを行いました。

うっふきどうじ

打吹童子ばやしとは /


～天女は子の幸せを祈り、子は母を想い太鼓と笛を打ち吹き鳴らす～

古くから打吹山を仰ぎ、その城下町として栄えた倉吉に伝わる天女と童子の伝説を「打吹童子ばやし」という形にして、子どもたちの打つ太鼓と笛の音で伝えていこうと、1992年7月に小学生和太鼓連として誕生しました。2013年には、中学生、高校生を中心とした和太鼓LEGEN童が創設され活動をスタートしました。

うっふきどうじ

打吹童子ばやしに
寄せられた感想

- 打吹童子ばやしの代表曲が聴けて歓喜しました！
- 締太鼓の2人完璧でした。
- 子どもたちの努力が伝わってくる一体となった演奏でした。



| 大会日程 | |
|--------|--|
| 13時 | 歓迎アトラクション |
| 13時15分 | 開会式 |
| 14時5分 | 実践発表① 関金小学校PTA 「げんき！えがお！のせきがねっ子」 |
| | 実践発表② 北条小学校PTA 「紡ぐ、ふるさと愛♡地域と ともに育つ北条っ子」 |
| 15時10分 | 記念講演 安井博志氏 「子どもの可能性を伸ばす 保護者の向き合い方」 ～ティーチングからコーチングへ～ |

| | |
|--|--|
| CONTENTS | |
| PI～5 第52回日本PTA 中国ブロックくらし大会特集 | P5 ○令和4年度鳥取県教育懇談会代替事業 「鳥取県版部活動の在り方検討」について |
| P6～7 ○教育予算要望書提出 | P8 ○令和4年度日本PTA年次表彰 ○三行詩コンクール |

第52回日本PTA中国ブロックくらし大会の様子

とっとり子どもサミット ～メディアとの理想的な付き合い方を考えよう～

県内の子どもたちが自主的にインターネットとの適切な付き合い方を考えることをねらいとして始めた「とっとり子どもサミット」は、当初参加対象を小・中学生としていましたが、令和元年度からは親子で参加し、親子で考える機会を持つことができたため、参加者各家庭におけるメディア利用に対する取組を深めていくことにつながりました。

第1回目に小学3年生で参加した児童が、6年間毎年参加し、令和4年度は中学2年生としてサミットに取り組みました。自己の成長とともに変化する生活実態に合わせ、インターネット利用のルールを見直すことの大切さを学んだ事例につながりました。

電子メディアとの付き合い方フォーラムで発表をすることで、児童・生徒主体で取り組んだ電子メディアとの適切な接し方を県全体に広げていくことができました。

参加された方からのアンケート

- 子どもたちと取り組む事で意味がある メディアとの付き合い方も大人と一緒に学ぶと子どもにも響きますね。参加して良かったです。
- 子どもサミットは、長い間続けていることで参加者が大きくなって自分の言葉で話せることができていいなと思いました。



◀会場で配られた缶バッジ

SNSトラブル防止標語啓発キャラクター「からばと」



SNSトラブルから子どもたちを守る合言葉

「とりのからあげ」

- と もだちがきずつく事をしない
- り よう時間を決めよう
- の せない個人情報
- か きんしない
- ら いんは相手の事を考えて送信
- あ わない SNSで知り合った人
- げ ームソフトの年れい制限を守る



鳥取県(委託:青少年育成鳥取県民会議)がSNSの利用に伴う危険性について小さな子どもにも分かり易く伝えられるような語呂合わせの合言葉・標語を募集し、「とりのからあげ」が大賞に選ばれたよ。

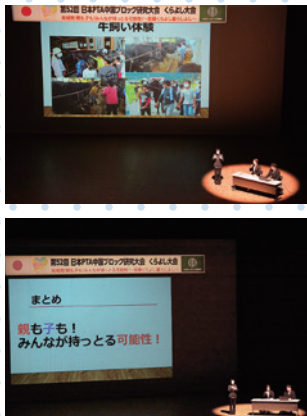
詳しくはこちらから <https://www.pref.tottori.lg.jp/294961.htm>

倉吉市立 関金小学校 PTA 事例

げんき! えがお! のせきがねっ子 ～地域との繋がりこれからの関金～

以前は学年ごとに親子会という取り組みをしていましたが、近年は少子少世帯化により全校活動として形を変え活動を続けています。

今後、未来の宝である子どもたちを地域全体で育てていくため「コミュニティ・スクール」と「地域」「学校」が共同で活動をしていくことが求められている中で、関金小学校における地域とのつながりの様子としきがねっ子のために PTA が取り組んでいる活動について紹介しました。



参加された方からのアンケート

- PTAだけでなく地域の方にも協力して頂くせきがね応援団を設立されたことが本当に良い取り組みだと思いました。
- 地域の方と子どもたちが繋がることにより登下校時など学校・PTAだけでは届きにくいところにも届くようになり、子どもも安心して学校に通えるようになると思います。

北条町立 北条小学校 PTA 事例

紡ぐ、ふるさと愛♡ 地域とともに育つ北条っ子!!

北条小学校区では、教育目標である「ともに、やさしく・かしこく・たくましく」の具現化を目指し、豊かな地域コミュニティをつくる人を育て、自分の夢を実現することのできる「人づくり」を基本理念として、地域の特色を生かした世代を越えた交流活動を大切にしています。

「地域の宝、北条っ子をみんなで育てよう!」という思いのもと、学校・PTA・地域が一つになって協力し、ともに連携しながら子どもたちを核とした活動を進める中で、世代間の交流が広がっています。

ここでは「ふるさと愛」を大切に紡いでいくことで、ふるさとを愛し、人を愛することのできる北条っ子の心を地域と「ともに」育てる活動を紹介されました。



参加された方からのアンケート

- 発表されている方のコンビネーションが良く楽しく発表されていて見てこちらでも楽しく拝見できました。
- 地域性の背景などもあるかと思いますが学年や親同士の繋がりも強いし、そういった姿を見ている子どもたちもそれが当たり前になっているのだろうと、羨ましくもあり、そのような風土を作っていくべきだと強く感じました。

記念講演

演題 「子どもの可能性を伸ばす保護者の向きあい方」
～ ティーチングからコーチングへ ～

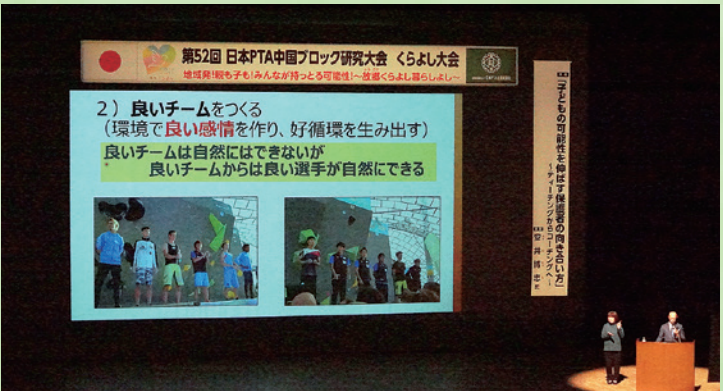
講師
安井 博志 氏
JOC 日本オリンピック委員会 ナショナルコーチ
スポーツクライミング日本代表ヘッドコーチ
東京 2020 オリンピック スポーツクライミング日本代表監督



プロフィール
2002年4月、由良育英高等学校（現鳥取県立鳥取中央育英高等学校）に山岳部を創設し、翌年から鳥取県山岳協会国体強化部長として山岳競技の普及と競技力向上に務め、国体で5度の優勝をさせた実績を持つ。2009年には世界最強と言われているオーストリアでの現地研修会に参加し、オーストリアのトップコーチからコーチ理論やメニューの組み方、戦略を学んだ。2009年11月のアジア大会以降はユース日本代表コーチを務め、2010年から日本オリンピック委員強化スタッフを務めている。現在は、選手強化責任者としてナショナルコーチ及びスポーツクライミング日本代表ヘッドコーチとして活躍中。

これからの未来を担う子どもたちのために私たちは何ができるのでしょうか。子どもにとって最も身近な大人である保護者の皆さんはいま何を考え、子どもたちに何をすることが最善なのかをいつもお考えになっていることと思います。私は高校理科の教諭として19年間教壇に立ち、現在はスポーツ現場の最前線に身を置いています。私が感じたことや経験が今後親としてできることを模索する上での参考になれば幸いです。

私が現在コーチングしている選手達は世界一の選手達です。より高いレベルに到達させるために私自身が彼らにお手本を示すこともできなければ、具体的にこうしなさいと指示するようなティーチングはほとんどできません。では、コーチとして何をしているのか。



それは「聴く（傾聴する）」ことです。

またヘッドコーチの主な仕事は以下の3つです。1つ目は、如何にしてリソース（ヒト・モノ・カネ・情報）を活かすかという「マネージメント」。2つ目は、独りでは成しえないことをチームという集団によってより良い環境を創り、各コーチの長所を利用して最大限の能力を発揮する状態にする「チームワーク」。3つ目は「ビジョンと戦略」を作成し目標を達成すること。これらによって他のライバルチームなども巻き込み、コミュニケーションや視野を広げ個々の能力を成長させるための仕掛けを実行していくことでチーム力を上げ、世界と戦っています。

素晴らしい社会づくりは多様性のあるさまざまな人材育成が必要です。我々の為すべきことは良いコーチングを行うために多くの人々が繋がり、より良い集団（チーム）を創ることであると考えます。その重要な集団のひとつがPTAではないでしょうか。本講演が皆様それぞれの保護者として活動、PTAとしての活動を振り返る機会となれば幸いです。



参加された方からのアンケート

- 実践され結果を出していらっしゃる方の言葉には重みがあり、とてもいい講演でした。
- 学びについて再考させてもらいました。日頃より何かにぶち当たると自分の無知を知るので学びを忘れないようにその姿を子どもに見せれるようにしていきたいと思いました。
- 講演会の内容を帰ってから伝えたくもっとノートにまとめたかったです。机がある会場だとより学びが深くできるのかなと思いました。
- コミュニケーションの大切さ・失敗・変化を大事にすること、親も前向きに学び続ける大切さを改めて感じました。
- 講演をきいて、教員として子どもも接していくのに、子どもの成長を一番に考えていくことがいかに大切であるか、ヒントを頂きました。ありがとうございました。
- 安井先生からのメッセージ『勝つことだけが全てではない』『すべての子どもに経験する機会を与えることが大切である』が印象に残りました。

～たくさんの方のサポートで開催できました～



初めから最後まで
素晴らしい会でした



スタッフの皆さん実行委員会の皆さん、
そして発表者の皆さんお疲れ様でした



やはりリアルに、参加したいと思いました。



コロナ禍において現地とオンラインのハイブリッド方式で
開催していただいたのがありがたかったです



皆さん、とても良い笑顔でした！
この会を支えようという気持ちで
すぐく伝わりました



準備に当たられた方々、
大変だったと思います。
ありがとうございました



発表も講演会も興味深く
楽しむことができました
お疲れ様でした

表舞台には出られていない多くの方のご協力により、
盛大な大会を実施することが出来ました。

このような大きな会を開催するには、ご苦労も
あったかと思いますが、とても見ごたえのある素晴
らしい大会になったと感じています。

県内外から来られる来場者の方が
その場で滞ることなくスムーズに
受付・誘導に協力していただきました。



改めて、会場に集まり、目の前で見聞きし、肌で感じることは、
幸せなことだと思いました。たくさんの学びがある大会でした。実行委員会
のみなさま、準備が大変だったことと思います。ありがとうございました。

事故・渋滞が発生の無い様に駐車場の
整備にご協力していただきました。



本当にありがとうございました！